

TOOLS for AXR4T for Mac

主なアップデート内容

V2.2.0 → V2.3.0

- 動作環境を変更しました。

Advanced FX Suite

V2.1.0→V3.0.0

- AU, AAX プラグインが Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

全プラグイン共通

- Steinberg Licensing に対応しました。

V2.1.0 → V2.2.0

- 動作環境を変更しました

Yamaha Steinberg Thunderbolt Driver

V1.1.3/V2.1.3 → V3.0.0

- Apple 社が推奨する機能拡張（DriverKit, Driver Extension）に対応しました。ドライバー-V3.0.0 以降では、レガシーの機能拡張を利用しなくなります。

V2.0.0 → V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Steinberg AXR Applications

V2.0.0→V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

Steinberg AXR Extension

V2.0.0 → V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で Cubase との連携機能が動作するようになりました。
(Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作させるためには Cubase12 以降が必要です。)

Steinberg dspMixFx AXR

V2.0.0→V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作するようになりました。

Advanced FX Suite

V2.0.0→V2.1.0

- Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で VST プラグインが動作するようになりました。
(Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境で動作させるためには Cubase12 以降など、Apple シリコン搭載の Mac のネイティブ環境での動作に対応した DAW が必要です。)

V1.2.2 → V2.0.0

- macOS 12 に対応しました。
- 動作環境を変更しました。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg Thunderbolt Driver

V1.1.1/V2.1.2 → V1.1.3/V2.1.3

- Intel プロセッサ搭載の Mac には V1.1.3 がインストールされます。
- Apple シリコン搭載の Mac には V2.1.3 がインストールされます。
- アプリケーションが MIDI を使用している時に、Mac をスリープ、Thunderbolt ケーブルを挿抜するなどの操作を行うと、MIDI が使用できなくなる問題を修正しました。
- モノラルのオーディオファイルを再生すると、"AXR4 LINE 3"で再生される問題を修正しました。
- ミュージックアプリで再生している時に、スタックした末端の AXR4T 本体の電源を切ると、波形/音程/出力先などが正しく再生されなくなる問題を修正しました。
- ミュージックアプリで再生している時に、AXR4T 本体のサンプルレートを変更すると、早送り再生、または、スロー再生となる問題を修正しました。
- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg AXR Applications

V1.2.1 → V2.0.0

- DSP エフェクトの GUI デザインを更新しました。変更点は「Advanced FX Suite」の項をご参照ください。

Steinberg AXR Extension

V1.2.1 → V2.0.0

- Cubase の MixConsole にもハードウェア設定が表示されるようになりました。
- Cubase からハードウェアのチャンネルリンクを制御できるようになりました。

Steinberg dspMixFx AXR

V1.2.1 → V2.0.0

- ファームウェアアップデート機能を追加しました。
- 出力チャンネルの表示領域を変更出来るようになりました。
- 本体のマルチファンクションノブでレベル変更をするミックスバスを設定できるようになりました。

Advanced FX Suite

V1.0.2 → V2.0.0

全プラグイン共通

- ベンダー名を Yamaha に変更しました。DAW でベンダー名表示をした場合に Yamaha 以下に各プラグインが表示されます。
- Advanced FX Suite が AAX プラグインフォーマットに対応し、Pro Tools で使用できるようになりました。
- GUI のデザインを一新し、HiDPI 対応しました。高解像度モニターでの視認性を向上しました。
- 75 個以上のプリセットを追加しました。
- 各プラグインに INPUT/OUTPUT メーターを追加しました。

Sweet Spot Morphing Channel Strip

- (Native 版のみ) EQ グラフにスペクトラム表示できるようになりました。
- EQ の各バンドを個別に ON/OFF できるようになりました。
- サイドチェーンフィルターの ON/OFF ができるようになりました。
- サイドチェーンメーターを追加しました。
- Stereo チャンネル用と Mono チャンネル用で分かれていたプラグインを統合しました。

Equalizer 601

- (Native 版のみ) EQ グラフにスペクトラム表示できるようになりました。

V1.2.1 → V1.2.2

- macOS 11 および Apple シリコンに対応しました。
- 動作環境を変更しました。

Yamaha Steinberg Thunderbolt Driver

V1.1.1 -> V1.1.1/V2.1.2

- macOS 11 および Apple シリコンに対応しました。
- Intel プロセッサ搭載の Mac には V1.1.1 がインストールされます。
- Apple シリコン搭載の Mac には V2.1.2 がインストールされます。

V1.2.0 → V1.2.1

Steinberg AXR Applications

V1.2.0→V1.2.1

- Cubase と dspMixFx AXR とで表示しているエフェクトパラメーター値が、一致しない場合がある問題を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

Steinberg AXR Extension

V1.2.0→V1.2.1

- Cubase と HALion を同時に使用すると、PC の動作が遅くなる問題を修正しました。

Advanced FX Suite

V1.0.1→V1.0.2

- 軽微な不具合を修正しました。

V1.1.0 → V1.2.0

- Cubase または Nuendo でプロジェクトを新規作成したとき、カスタムペインの Clip 表示が点灯したままになる問題を修正しました。
- Cubase または Nuendo でプロジェクトを変更したとき、DSP FX の設定画面を閉じるように仕様を変更しました。
- dspMixFx AXR に AES/EBU のマスターチャンネルを設定する機能を追加しました。
- dspMixFx AXR でヘッドフォンのアサインが正常に保存されない問題を修正しました。
- サンプリング周波数を変更したとき、EQ のグラフ表示が追従しない問題を修正しました。
- Digital I/O モードの変更などでチャンネル数が減少したとき、リバーブの設定が正しく解放されないことがある問題を修正しました。
- macOS 10.14.5 以降の環境にインストールしたとき、互換性の警告メッセージが表示される問題を修正しました。

- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.0.1 → V1.1.0

- AXR4 ファームウェア V1.10 に対応しました。
- dspMixFx AXR および AXR Extension の表示不具合を修正しました。
- Cubase のプロジェクトのデジタル I/O が意図せず変更されてしまう問題を修正しました。
- AXR4T をスタック接続しているとき、2 台目のデジタル I/O モードを変更すると、Cubase が異常終了する問題を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

AXR4 Firmware

主なアップデート内容

V1.20 → V2.00

1. DSP エフェクトに以下の機能を追加しました。

Sweet Spot Morphing Channel Strip

- EQ の各バンドを個別に ON/OFF できるようになりました。
- サイドチェーンフィルターの ON/OFF ができるようになりました。
- サイドチェーンメーターを追加しました。
- INPUT メーターを追加しました。

REV-X

Equalizer 601

Compressor 276

- INPUT/OUTPUT メーターを追加しました。

2. V1.20 まではサンプル周波数変更時に必ず DSP エフェクトのインサートを解除していましたが、DSP エフェクトのリソース制限が減少しないサンプル周波数変更時にはインサートを解除しないように仕様変更しました。
3. AXR4 本体ディスプレイの操作仕様に以下の変更を行いました。
 - 設定ダイアログ画面を開くことなく、MAIN 表示エリアでパラメーターを直接設定できるようになりました。
 - 操作を停止してから HOME (METER 画面)に自動的に戻るまでの時間を設定できるようになりました。
 - METER 画面でレベル操作するミックスバスを複数設定できるようになりました。これにより、サラウンド環

境などにおいて、複数のバスをまとめたレベル操作ができるようになりました。

- CH SETUP の画面構成を変更し、関連の深いチャンネルのゲインと Silk プロセッシングのパラメーターを一覧しながら同時に設定できるようになりました。

(以上詳細はAXR4 V2.0追補マニュアルをご参照ください)

V1.10 → V1.20

- ピークホールドの表示がリセットされないことがある問題を修正しました。
- 本体を再起動したとき、チャンネルストリップの MUTE 設定の値が変更されることがある問題を修正しました。
- dspMixFx AXR でセッションファイルをロードしたとき、SRC の設定が反映されない問題を修正しました。
- シーンをリコールしたとき、モノラル入力チャンネルからステレオミックスチャンネルへのセンドが片チャンネルだけになることがある問題を修正しました。
- サンプリングレートを変更したとき、HOME 画面と SETUP 画面に異なるサンプリングレートの値が表示されることがある問題を修正しました。
- dspMixFx AXR から"Disable Insert FX"を実行したとき、DSP リソースが正しく解放されない問題を修正しました。
- 選択されている項目に*マークを表示して、LCD の表示を改善しました。
- SCENE 画面のフォーカスの表示を改善しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.00 → V1.10

- SRC に対応しました。
- ファンタム電源がオンになっているチャンネルをチャンネルリンクすると、ファンタム電源がオフになるように変更しました。
- ヘッドホン出力の位置を出力バスのポストフェーダーからプリフェーダーに変更しました。
- ハイパスフィルターのカットオフ周波数の設定を CH SETUP 画面から SYSTEM SETUP 画面に移動しました。
- 出力チャンネルの INSERT SLOT2 にエフェクトをインサートすると音が出なくなる問題を修正しました。
- dspMixFx AXR で、DAW からの入力チャンネルのフェーダーを $-\infty$ にしているときにダイレクトモニタリングをオンにすると音が出なくなる問題を修正しました。
- チャンネルリンクを変更したとき、ヘッドホン出力がモノラルになることがある問題を修正しました。
- ソロをオフにしたとき、音が正しく出力されないことがある問題を修正しました。
- デジタル I/O モードを変更したとき、MAIN OUT VOLUME 設定対象のチャンネルが正しく更新されない問題を修正しました。
- AXR4T をスタック接続しているとき、複数の AXR4T を初期化すると、Duplicated STACK ID エラーが表示されなくなることがある問題を修正しました。

- AXR4T をスタック接続しているとき、マスター機器のクロック切り替えにスレーブとなっている AXR4T のワーククロックが追従しない問題を修正しました。
- DAW でレイテンシーの値が正しく表示されない問題を修正しました。